

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 開館5周年記念展 アピチャップン・ウィーラセタクン個展

PHOTOPHOBIA 2014.6.14 - 7.27

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAでは、開館5周年を記念し、アピチャップン・ウィーラセタクン氏による個展「PHOTOPHOBIA」を開催致します。本展は、日本未発表の新作を含む作品約40点が出展される、これまで国内で開催されたアピチャップン氏の最大規模の個展となります。

本展「PHOTOPHOBIA」は、2013年10月にノルウェー・オスローのStenersen Museumで開催された同名の展覧会をベースに新作を追加し、弊廊の展示空間に合わせ再編したものです。展示作品は、1999年制作の「Windows」から、2014年制作の「Fireworks」までの映像作品を中心に、写真等の平面作品も数多く出展します。

アピチャップン氏の作品の多くは、タイのイーサーン(東北地方)でつくられ、その地域に伝わる迷信、個人的な記憶、夢、無意識、森の記憶などを主題としています。アピチャップン氏は、「森の中にある光と記憶に強く惹かれる」、同時に「全てを記憶したいという欲望と、全てを記憶してしまうことに対する恐怖がある」と言います。羞明(しゅうめい)を意味する「PHOTOPHOBIA」は、アピチャップン氏の「光」に対する「憧憬」と、それに伴う「恐怖」や「痛み」を表しているとも解釈できます。

アピチャップン氏の作品には、初期から一貫して説明的なものは少なく、抒情的で瞑想的ともいえる映像表現が特徴で、不思議な夢のように論理的な理解を求めません。一方で、直接的に明示されることはないですが、タイ現代社会と密接な関係にあり、若者、移民、経済格差、政治などの社会問題を、緻密に計算された映像表現の中に観取できます。そうした両義性が、作品に重層的な構造を与え、多くの人々を魅了しているのだといえます。

是非この機会に、多様なメディアを用いて表現されるアピチャップン氏の作品世界を、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 開館5周年記念展 アピチャップン・ウィーラセタクン個展 -PHOTOPHOBIA-
会期：2014年6月14日(土)-7月27日(日)

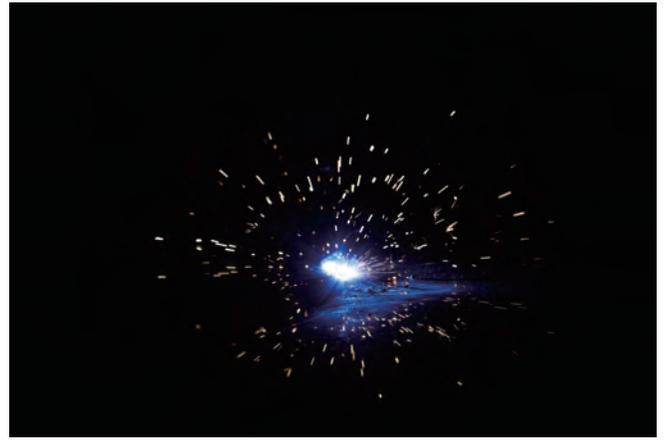
企画：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 主催：京都市立芸術大学 助成：芸術文化振興基金
協力：SCAI THE BATHHOUSE, トモ・スズキ・ジャパン有限会社

お問合せ：gallery@kcuu.ac.jp | t.075-253-1509 | f.075-253-1510 (プレス担当 池田)
〒604-0052 京都市中京区押油小路町 238-1

【参考作品】



【1】



【2】



【3】



【4】

【1】 Still from “Fireworks”, 2014

【2】 Still from “Fireworks”, 2014

【3】 Installation View of “Dilbar”, 2013

【4】 For Tomorrow For Tonight, 2009

【主な出展作品リスト】

映像作品(映像を使用したインスタレーションを含む)

ASHES (2012)

Cuctus River(2012)

Dilbar(2013)

Emerald(2007)

Fireworks(2014)

Phantom of Nabua(2009)

Window(1999)

その他

写真、コラージュ、水彩、等の平面作品 20点程度

※展示の内容は、予告なしに変更されることがございます。予めご了承くださいませようお願い致します。

【略歴】

アピチャッポン・ウィーラセタクン (映画監督・アーティスト, タイ・チェンマイ在住)

1994年に映像制作を始め、2000年に初めての長編映画を完成させる。タイの商業映画界とは一線を画し、1999年に自ら設立したKick the Machineプロダクションを通し、実験的でインディペンデントな映画制作を続けている。2010年には、「ブンミおじさんの森」でカンヌ国際映画祭にて最高賞(パルムドール)を受賞する。

同時に現代美術作家としても、国際的に高い評価を獲得しており、代表作には映像を使用したインスタレーション作品の「Primitive」がある。これはドイツ・ミュンヘンのハウス・デア・クンスト(2009)、パリ市立近代美術館(2009)、ニューヨークのニュー・ミュージアム(2010)を含む多くの美術館を巡回した。2013年には、美術家チャイ・シリとのコラボレーション作品にてシャルジャビエンナーレに出展し金賞(最高賞)を受賞、またドイツ・カッセルにて開催されたドクメンタ13にも出展した。同年に、福岡アジア文化賞(文化・芸術賞)も受賞している。

【関連イベント】

2014年6月13日(金) プレ・イベント + レセプション

会場：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 2F

18:00 プレ・イベント POD(Moderndog) Special Live

アピチャッポン・ウィーラセタクン氏がミュージックビデオを手がけたことのあるタイのミュージシャン POD【*1】のライブを開催致します。ウィーラセタクン氏が会場構成を手がけます。

19:00 レセプション

2014年6月14日(土) トークイベント

会場：京都芸術センター フリースペース

13:00 ~ 15:00 アピチャッポン・ウィーラセタクン x アラヤー・ラートチャムルンスック【*2】

同時期に京都芸術センター × 京都市立芸術大学 アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2014 で招聘されているアラヤー・ラートチャムルンスック氏とのトークイベントを開催致します。

【*1】

タイのバンド Moderndog のボーカル。アルバムの総売上は 200 万枚を超えるタイのロックスター。Moderndog のアルバムには、チボ・マットの本田ゆか、Buffalo Daughter の大野由美子が参加するなど、日本人のミュージシャンとの親交も深い。2005 年には FISHMANS の再結成ライブツアーに出演、近年ではクラムボンの原田郁子とタイのアニメーターのウィスット・ポンニミットのアルバムに参加するなど日本での活動も多数ある。

【*2】

1957 年タイ生まれ。1986 年、シラパコーン大学にて MFA 取得。立体作品、インスタレーション、パフォーマンス映像、写真等、死や嘆きのイメージに女性の性やアイデンティティを映す作品を多く発表している。ヴェネツィア・ビエンナーレ・タイ館 (2005)、シドニー・ビエンナーレ(2010)にて作品展示。

以上